

令和6年 グローバルに活躍するために英語で可能性を広げよう！ 年間留学プログラム募集要項

プログラム実施大学 ※日程の詳細については、現在相手大学と調整中。 ※最低実施人数に満たない場合はプログラムが実施できない場合もある。



マウントロイヤル大学 (カナダ・カルガリー市)

令和6年4月上旬～令和6年12月下旬

- ◆募集人数：15名（最低実施人数10名）
- ◆概算費用：約430万円

マウントロイヤル大学は、国立記念公園や、ロッキー山脈の大自然と隣接している街にあり、カナダ・アルバータ州・カルガリーに位置するカナダ中部を代表する国立総合大学で、高等教育機関としてはアルバータ州で最も歴史のある大学です。英語教育専門機関も充実し、世界各国から外国人留学生を受け入れて、充実した英語教育を実施しています。

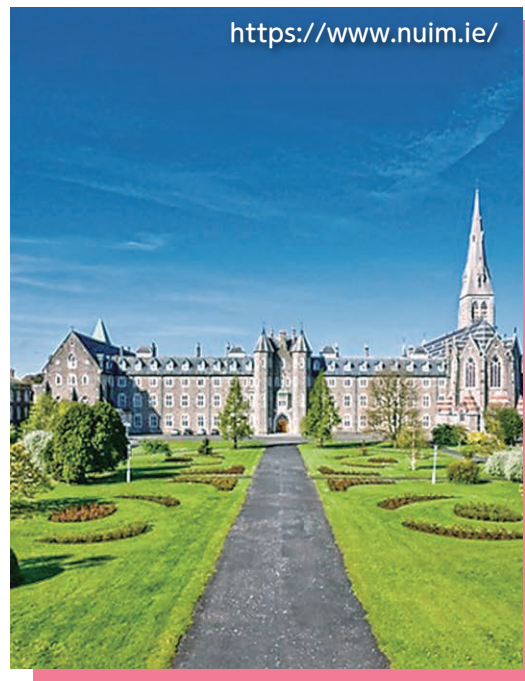


メイヌース大学 (アイルランド・ダブリン郊外メイヌース市)

令和6年3月中旬～令和7年1月下旬

- ◆募集人数:15名(最低実施人数8名)
- ◆概算費用:約460万円

メイヌース大学は、4大学によって構成されているアイルランド国立大学の1校で、1795年に設立された聖パトリック・カレッジ・メイヌース校にさかのぼり、アイルランドの大学としては2番目に古い歴史を誇っています。中世の街並みを残す学園都市であるメイヌース市は首都ダブリンから西へ電車で約30分の距離にあり、ダブリンからメイヌース市までは、アイルランドのIT産業集積地となっており、有名なIT関連多国籍企業のヨーロッパ本部が置かれていることでも知られています。



※費用については下記の費用が含まれます。

・現地授業料(3学期分)・航空運賃(成田又は羽田-各大学最寄の空港間往復)・宿舍費、食費、その他の生活費等・現地大学での医療保険・海外旅行保険・24時間対応危機管理サポート
※マウントロイヤル大学はカナダ査証取得代金が含まれる。※上記記載費用は、為替レートの変動等により大きく変わる可能性がある。



日本大学経済学部



1 募集説明会

- ① 令和5年9月30日(土) 13:00~ (場所調整中)
 - ② 令和5年10月7日(土) 13:00~ 7号館2階講堂
- ※①と②は同内容ですので、①又は②のどちらかに保護者の方と御参加ください。

2 出願資格

次の出願資格を満たす者。

- ① 本学部の学生。ただし、外国人留学生は対象外。
 - ② 次の単位を修得している者。
 - 1年生：履修届を提出
 - 2年生：30単位以上
 - 3年生：60単位以上
 - 4年生：90単位以上
 - ③ TOEFL, TOEIC, 英検等の英語のスコアレポートを出願時に提出できる者。ただし、令和4年4月以降に受験した語学検定試験で取得したものに限り。なお、受験してからスコアレポートが発行されるまで時間を要するので、注意してください。
(スコア最終提出期限10月31日(火) 16:00まで。
そのほかの出願書類は10月20日(金)まで。)
- 語学基準(目安)：TOEFL-iBT 45点以上
TOEFL-ITP 450点以上
TOEIC 450点以上
英検 準2級以上 等
- ④ 本学部が定める留学誓約書を遵守できる者。
 - ⑤ 出発までの期間及び現地で英語能力を向上させる強い意思がある者。
 - ⑥ 指定する宿舎で共同生活を営める者。
 - ・マウントロイヤル大学(大学寮)
 - ・メイヌース大学(ホームステイただし秋学期は大学寮も選択可)

3 出願書類

- ① 願書
- ② 留学計画書
- ③ 成績証明書(1年生は履修届)
- ④ TOEFL等のスコアレポート(「2出願資格」③を参照)
- ⑤ 誓約書

4 出願期間

出願の際はまず「事前webエントリー」(本学部ホームページに掲載)を行ってください。「事前webエントリー」を行った後、出願書類を下記出願先へ提出すること。

- ① 事前webエントリー
令和5年10月9日(月)~10月13日(金)
- ② 願書等提出
令和5年10月13日(金)~10月20日(金) 16時

5 出願先

経済学部教務課国際交流室(本館1階)

6 選考方法

学業成績、書類審査及び面接により総合的に判定。

7 選考試験

令和5年11月11日(土) 10時00分~

8 合格発表

令和5年12月1日(金)以降に本人宛に通知。

9 合格者オリエンテーション(開催場所は調整中)

- ・マウントロイヤル大学合格者
令和5年12月8日(金) 18時00分～
- ・メイヌース大学合格者
令和5年12月11日(月) 18時00分～

10 履修科目の単位認定について

現地で一定以上の評価を得た科目については、30単位(最大英語10単位、レギュラー授業20単位)まで認定され、本学部の卒業要件に算入されます。
※マウントロイヤル大学については28単位。

11 帰国後のTOEFL-iBTあるいはIELTSのスコア提出

留学期間中又は帰国後にTOEFL-iBTやIELTSの受験をして、指定された期日(令和7年2月初旬)までにスコアレポートを提出してください。提出がない場合は、単位認定をすることができません。

12 本学部の授業料の取り扱いについて

留学期間中の経済学部授業料(年間)、施設設備資金、後援会費及び校友会費は、全額免除。ただし、「留学在籍料」12万円を徴収いたします。

13 海外旅行保険及び24時間対応危機管理サポートへの加入(出発前に日本で加入)

参加者全員が大学指定の海外旅行保険及び24時間対応危機管理サポートに加入が必須です(クレジットカード付帯保険等は除く)。

14 留学先大学指定の保険

日本で加入する海外旅行保険のほか、現地大学が指定する保険に加入が必須です。

15 その他出願に伴う条件

- ① 留学時の新型コロナ対策や以下のようなリスクや影響について十分理解をし、学生及び保護者(保証人)が共に留学を強く希望する場合のみ御応募ください。
 - ・感染症等
 - ・ウクライナ情勢(今後どのようになるか予測できない)
 - ・紛争
 - ・治安悪化(暴動・テロ等)
 - ・自然災害
 - ・事件(犯罪)、事故(交通事故等)
- ② 留学中は自己責任において行動できる者。
- ③ 新型コロナウイルス感染症による重篤化の恐れがある基礎疾患等現病歴及び既往歴のある者は、生命を第一優先とするため、本プログラムの出願はできません。
- ④ 留学渡航前、留学途中の中止又は帰国命令等両大学の決定に従える者。また、その際に発生するすべての費用は自己負担である事を了承できる者。
- ⑤ 航空券については、大学指定の旅行代理店で大学がまとめて購入する事を了承できる者。
- ⑥ 全員一緒に渡航し、一緒に帰国する事を了承できる者(現地集合・解散は行いません)。

16 願書配布・出願及び問い合わせ先

経済学部教務課国際交流室

〒101-8360 東京都千代田区神田三崎町1-3-2

本館1階

電話：03-3219-3343

Email：eco.intercom@nihon-u.ac.jp

以上

広い視野でものを考えるきっかけに



日本大学経済学部長
手塚 広一郎

年間留学プログラムは、英語のコミュニケーションスキルを伸ばすということが一つの目的です。しかし、それにとどまるものではありません。海外に行き、そこで学び、生活していると、これまで「あたりまえ」と考えていたことが、そうではないと気づくでしょう。

とりわけ、年間留学プログラムは、短期間の旅行や語学研修とは異なり、海外に長期間滞在し、大学の講義を受けることになります。長期にわたって英語中心の生活を体験することで、様々な「あたりまえではない課題」に直面するでしょう。さらに、最近では、コロナ禍やウクライナ情勢、そして円安など、海外留学に影響を与えるような様々なリスクも発生しています。したがって、留学に際しては、これまで以上に物事を熟考し、自らの責任で行動する必要があります。

しかしながら、このような課題を自ら考え、解決し、乗り越えることで得られる成果は、英語のコミュニケーションスキルの獲得以上のものがあります。人によっては、今後の人生観を変えるほどの大きな経験になるでしょう。これは、まさに自主創造の実践に他なりません。

このような機会は常にあるわけではありません。大学生の今チャレンジをする意義もあります。卒業後に「あのとき留学しておけばよかった」という後悔がないようにチャレンジしてください。年間留学プログラムは、英語のコミュニケーション力を高めるだけでなく、貴重な経験を得ることで、広い視野でものを考える重要なきっかけを与えてくれるでしょう。

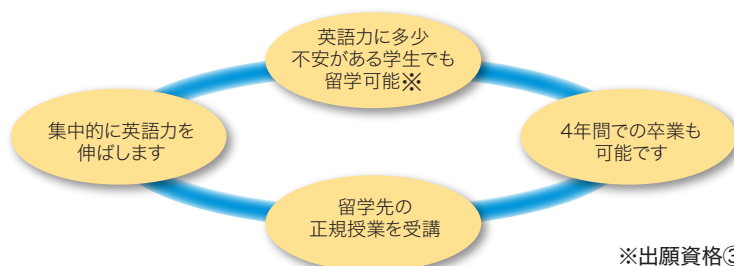
「年間留学プログラム」の目的とは

世界経済フォーラムが発表した2022年のジェンダー・ギャップ指数によると、日本は146か国中116位でした。経済分野では121位とさらに低くなります。このことが象徴しているように、日本では「当たり前」だと思われることも、世界の多くの国々では「当たり前」とはいえません。年間留学プログラムでは、一年近くを海外で生活するわけですから、日本にはない文化や価値観にたくさん触れることになるでしょう。それはきっと、その後の大学生活はもちろん、卒業後のキャリアにおいても大きく可能性を広げてくれることになるはずです。

新型コロナウイルスの世界的な流行によりしばらく休止していた年間留学プログラムですが、昨年からようやく再開にこぎつけることができました。年間留学プログラムに参加した皆さんが、自分のなかにある「当たり前」を取り払って、真のグローバル人材として活躍することを期待しています。

日本大学経済学部 国際交流委員長 藤野雅史

「年間留学プログラム」の4つの特徴



※出願資格③語学基準参照